

# びふか 議会 です

## こんにちは。

2020年8月  
北海道／美深町議会

### かがやく美深の夏



第2回 定例会	一般 会計	補正予算に付帯決議	.....	2~3	ペ
第2回 定例会		条例改正・意見書	.....	4	ペ
一般質問		ここが聞きたい 4議員	.....	5~9	ペ
委員会報告		農業・林業の現状と課題 第5次総合計画検証報告	.....	10	ペ
私からの メッセージ		人との出会いと繋がり は宝もの 民生委員・児童委員を通じて	池田 正子 岡崎 佳子	.....	12

# 第114号

美深町議会

検索



ホームページから  
議会の動きをご覧  
いただけます。

この議会広報は、地球にやさしい  
再生紙を使用しています。

# コロナ対策 支援強化へ

第2回定例会は6月15日～17日を会期として、一般質問は4議員が新型コロナウイルス感染症対策を質し、民法の改正にもなう条例の整備・改正や住民生活に重点をおいたコロナ対策など一般会計補正予算の審議が行われました。

## 主な質疑

### 一般会計補正

#### プレミアム商品券

**質問** プレミアム商品券の発売時期と商工会職員の事務量増加に対する考えは。

**企画G 主幹** 1回目は7月15日～8月17日とし、2回目は11月12日～12月16日に販売する予定。事業経費は商工会と協議し、スタンプリナー、臨時の人件費等を含め予算措置をした。今回は交換手

数を増やさない方針。道庁の道産展示館双子座館(道の駅)に関する242万円の工事内容は。

#### 道の駅

**質問** 物産展示館双子座館(道の駅)に関する242万円の工事内容は。

**企画G 主幹** 経年劣化し軒先と梁(H鋼)の補修、入り口脇の屋外店舗のオープンスペース化(休憩所)の工事。

**質問** 指摘の建物は地場産品の販路拡大と地場商品の発信の役割がある中、休憩所以外の考えに至らなかったのか。付屬して

いる調理機器の扱いてもどう考えているのか。

**企画G 主幹** 臨時イベントにも利用するので、調理スペースはシャッターを開閉できるようにし、出店等に関するも募集し更なる利用増に向け協議する。

**質問** 小学校・中学校でタブレット端末を一人1台の配備を行うが、環境整備や遠隔授業による教職員の作業の増加や指導方法等に課題はないか。

#### タブレット端末

**質問** 小学校・中学校でタブレット端末を一人1台の配備を行うが、環境整備や遠隔授業による教職員の作業の増加や指導方法等に課題はないか。

**教育G 主幹** 学校内は受信出来る環境を整備する。家庭での利用は将来の検討課題。職員は授業支援のシステムメーカーや道立教育研究所で研修が必要になるものと考えている。

**質問** 感染症予防対策用備品はどのような内容か。

**総務G 主幹** サーモグラフィーが7台、サーマルカメラ2台を用意する。7台は町内小中学校・役場・教育委員会・児童館・幼児センターに配備し、サー

#### サーモグラフィー

**質問** 感染症予防対策用備品はどのような内容か。

**総務G 主幹** サーモグラフィーが7台、サーマルカメラ2台を用意する。7台は町内小中学校・役場・教育委員会・児童館・幼児センターに配備し、サー

#### 質問者

荒川・和田  
藤原・小口  
田中・岩崎

原案可決 賛成多数

マルカメラは20人まで同時に体温の確認が出来るもので、役場とCOM100に用意し、他の施設等で大きなイベント等がある場合は貸し出しもする。

今回の主な補正内容(一般会計分)

補正前の額	補正額	補正後の額
59億5,675万円	9,782万円	60億5,457万円
感染症予防対策用備品購入		455万円
介護保険特別会計繰出金		360万円
商店街支援(プレミアム商品券)		4,150万円
小中学校タブレット購入		2,684万円
タブレット通信環境整備		616万円
コミセン備品補助(第1コミセン)		250万円
北部簡易水道特別会計繰出金		108万円
町有建物解体(恩根内バス車庫)		230万円
物産展示館外部等改修		242万円

## 第2回定例会

## 物産展示館双子座館(道の駅) 改修の補正予算に付帯決議

一般会計補正予算で計上された物産展示館双子座館の改修工事請負費(242万円)について複数の議員から質疑があり、原案は賛成多数で可決されました。だが、岩崎泰好議員から動議として付帯決議案が提出され、賛成多数で可決されました。



休憩スペースは拡大・充実するが課題も・・・

### 補正予算に対する付帯決議

(前文一部省略) 予算執行にあたっては条例にある「本町地場産品の販路拡大と観光振興を図ると共に、地場産品等に対する地域住民の理解を得る場」という設置の目的に沿って、より有効な予算執行が行われるよう、下記の項目について付帯決議する。

記

1. 物産館西側全体にある鉄骨造りの屋根部分の撤去後のスペース活用の手法や改修するオープンスペースなど道の駅正面について、来客に好感をもたれる施設とすること
  2. 全体構想と全体計画に基づいた改修・改築を行うこと
  3. 地場産品の販路拡大に向け、店舗を出しやすい出店への仕組みを再構築し、オープンスペース等への出店使用者の掘り起こしを行うこと
- 上記決議する。

令和2年6月17日 美深町議会

### これまでの経緯

今回予算計上されたものは、物産館西側の軒先と梁(H鋼)の補修にかかるものと、オープンスペースに改修して休憩所として活用する2か所。

この建物は、正面入り口脇に、旧来、テナ

トを設営して地元の野菜を販売していたものを、常設化施設として平成21年に建設された。

一昨年、本館の販売商品や陳列レイアウト・従業員の配置等の見直しの際、入口付近に野菜を置くことになったことから本館の販売と合わせて管理することとなり、空いた施設を

軽食&コーヒーションとして活用されてきたスペース。

本年3月、担当者の離町により継続が困難になり閉鎖状態にあった。



公営住宅と入居基準が異なる独身寮住宅

## 低所得者の軽減措置 介護保険特別会計

昨年10月の消費税引上げによる低所得者の保険料軽減措置に伴い、減収分(約360万円)を一般会計から繰入するもの。【関係条例の改正で軽減割合を拡大する。対象者873人】

### 主な質疑

**質問** 来年度(第8期)はどうするのか。

**保健福祉G 主幹** 今回の措置は本年度だけで、次期計画の中で決定していく。

**質問者**

藤原

原案可決 全員賛成

## 公営住宅への入居条件緩和へ 特公賃住宅・独身寮には連帯保証額を明記

「民法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」改正

旧来、公営住宅の入居手続きには保証人が必要だったが、必要としないとする改正と、収入申告が出来ない人に関する申告義務の緩和策。家賃の支払いで債務が発生した場合に、敷金を債務の返済に充てることの明記。特定公共賃貸住宅と独身寮では、連帯保証人が保証する極度額を設定し保証額を明確にする改正。

### 主な質疑

**質問**

今後、町外から新たに移住を

される方の利用増が予想されるが、独身寮への入居希望の場合、連帯保証人の連署と極度額の設定はハードルが高いのではないか。

**建設水道課長**

独身寮ならではの課題を抱え、入退去の頻度が多いことや入居者の管理の問題点もあり、公の施設管理上旧来通り連帯保証人が必要とし、極度額の設定を明確にした。

公営住宅の入居条件から連帯保証人を外したことは、住宅確保の観点から踏み込んだ条例改正とした。

**質問者**

和田

原案可決 全員賛成

## 2件の意見書を採択 国へ提出

### 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

(要約) 森林資源の循環利用を進め、国土保全、地球温暖化防止、林業・木材産業の振興による林産物の供給や雇用拡大、地方創生にも貢献する多面的機能の発揮を目指し、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を講ずるよう強く要望する。

提出者 岩崎 泰好

賛成者 和田 健、齊藤 和信、五十嵐 庄作、田中 真奈美

提出先 内閣総理大臣、関係大臣《全員賛成》

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

(要約) 社会保障、防災、環境対策、地域交通対策、人口減少対策、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策など課題が山積みになっていることに加え、公的サービスを担う人材不足は深刻化を増している。さらなる地方自治体の財政充実・強化を求める。

提出者 藤原 芳幸

賛成者 小口 英治、中野 勇治、荒川 賢一、名取 明美

提出先 内閣総理大臣、関係大臣《全員賛成》

# 一 般 質 問

## 4名の議員が町政を問う！

一般質問の各ページは、質問した議員自身が質疑を要約し原稿作成しています。

### 藤原 芳幸 議員

- 新型コロナウイルスにより変化する社会への対応について

### 岩崎 泰好 議員

- 安全がキーワード。新しい生活様式と持続可能な地域社会構築への方策は
- パンデミック発生時の休校しない授業体制の構築は

### 田中 真奈美 議員

- 今だから考える教育の在り方について
- 新型コロナウイルス感染症に対する医療体制について

### 小口 英治 議員

- 新型コロナウイルスによる小、中、高校の影響と課題
- 商工業・農業・医療の影響と課題
- ふるさと納税の課題

### 一般質問とは・・・・・・・・

各議員が美深町の行財政全般にわたり町行政当局の考え方や疑問点を質すことで、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果としては、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

① 新型コロナウイルスにより変化する社会への対応について



藤原 芳幸 議員

**問** 社会変化が起こるほどの事態では

**答** 生活の在り方が問われる

**町長** 一昨年の胆振東部地震とコロナ感染の想定外の事態を今後の教訓とし、さらに安全安心のまちづくりを目指す。美深がこれまで築き上げてき

**質問** この事態で今後様々なものが変わると思われるが、現在準備している第6次総合計画にどう反映させるのか。

**町長** 町民の暮らしを守り経済も守る、全ての町民が満足できるものにはならないかもしれないが、暮らしと経済の両面での政策を行っている。前例のない今回の事態は、これまでの社会、生活の在り方が問われることとなった。

**質問** 今回の事態に先頭に立ち対策にあたっては町長は、この事態をどのように受け止めているのか。

**質問** 都会の生活から田舎暮らしへの見直しが進む可能性がある。新しい農業スタイルでの移住も考えられ、受け入れ側が認

**町長** これまでの生活スタイルを見直し、今後も続けなければならぬものと考えている。「美深町新しい生活様式」を各家庭内に貼っていただき、行動を継続してもらうことで感染者を発生させないことにつなげてい。

**質問** 「美深町新しい生活様式」を作成し全戸配布したがこれにより町が目指すものは。

たものや、農業を基本としたまちづくりは大きく変わるものではないが、今回のことを協議し、やるべきことをしっかりと進めていきたい。

私が思うコロナ感染終息後の社会  
(一般質問から)  
コロナ感染拡大を受け、大きな社会変化が起こることもと予想され、現代社会も変化に合わせた対応に迫られることとなる。  
私たちが生活していくうえで必要なものとは何か、普遍的な価値とは何かを考える機会となり、都会の生活から田舎暮らしが見直され、農業による食糧生産、国内自給率の向上や自国に生産基盤を戻し、内需拡大による経済復興に転換を目指す動きも予想される。

**質問** 今後起こりえる社会変化で、これまでの経験値だけでは対応が厳しくなる。

**町長** 事態が収束すればそのような可能性が高まることも考えられる。農業に限らず、ほかの分野でも移住者を大いに受け入れてまちづくりを進めたい。

識する必要があるのではないか。

**町長** 高齢者が多くなり少なくなってきた若者が参加しにくい環境があるかもしれない。参加しやすい環境づくりは責務であり、進歩する時代に対応する環境づくりと合わせて考えていかなければならない。

若い世代の発想を取り込む体制が必要ではないか。



岩崎 泰好 議員

- ① 安全がキーワード  
新しい生活様式と持続可能な地域社会構築への方策は
- ② パンデミック発生時の休校しない授業体制の構築は

## 問

### 全町民のPCR検査は

## 答

### 独自実施の考えはない

## 質問

PCR検査体制の構築に全町民を対象とした実施が望まれるが、検討に入る決断の時期ではないか。

ニューノーマルの発想やパンデミックに耐える持続可能な社会システムの構築、さらに過疎から「適疎な農村づくり」など検討を加え、全国に発信する美深町としてはどうか。

## 町長

指定感染症である以上、法に基づいて受診するのが建前で、国・道においてもPCR検査を拡

大しようという動きはなく、独自に実施する考えはない。

適疎な農村という新しいキーワードだが、長年にわたって当町が進めてきた安全で安心して暮らしていける町づくりという方向では、そんなに大きく特別変わるわけではないと理解している。

## 問

### 学級定員の緩和と 教職員の増員は

## 答

### 少人数授業を実施 追加配備を協議中

## 質問

「休校しない授業体制の構築」が必要と考えるがその対策について

- ① クラス定員数の緩和措置と教職員の増員は
- ② タブレット端末1人1台の確保で、家庭でできるWeb環境とセツトで貸与し反転授業な

どによる勉強意欲をさらに高める教育環境整備への取り組みを実現させては

- ③ 児童生徒全員のPCR検査を定期的に実施する考えは

## 教育長

美深中学校では学校再開



導入を予定している  
タブレット端末

後、当面の間、3年生を2つのグループに分けて少人数での授業を実施しており、文部科学省の支援策・教員の追加配置をする制度を活用して対応を学校と

鋭意協議を進めていく。国は令和5年度までに達成するとしていた1人1台のパソコン端末の整備を緊急経済対策として令和2年度中に前倒し、本町においてもギガスクール構想に対応すべく町内小学校の児童生徒1人1台のタブレット整備。児童生徒用、予備含めて280台。指導教員用42台。併せて322

台。これにかかる予算を今議会に提案している。

PCR検査は町として現時点で検査環境が整っておらず、一町村の教育委員会では体制にはない。児童生徒の検診は、学校保健安全法に基づき実施しており、法で位置付けられていない検査を全児童生徒対象に実施するのは困難。

新しい検査方法が出てくる可能性もあり、文部科学省なり厚生労働省・道教育委員会の動きを注視したい。

## 用語解説

**GIGAスクール構想とは**  
2019年12月、児童生徒1人1台の情報端末および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰ひとり取り残すことのない公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させることを目指して文部科学省が発表した方針。当初、2020年度までに全国の小学校・中学校・高等学校等で高速大容量の通信ネットワーク整備、2023年度までに全国の小学校・中学校で段階的に生徒児童1人1台のPC端末を整備するというスケジュールだったが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休校が長引く状況を踏まえ、1人1台のPC端末整備についても2020年度中に全学年で目指すこととなった。

- ① 今だから考える教育の在り方について
- ② 新型コロナウイルス感染症に対する医療体制について



田中 真奈美 議員

**問** 長期休校に備え美深町として  
取り組まなければならないことは

**答** 感染予防に配慮し  
様々な工夫で学校の充実

**質問** 新型コロナウイルス感染症対策のため、長期休校となった学校の対応の仕方や子どもたちの学力への影響などの課題と、また第6次総合計画の策定に向けてどのような考え方をもち進めていくのか。

**教育長**

学習の遅れ、生活リズムの乱れ、外出制限による心身への影響も懸念される。

6月から学校も始まりましたが、まずは感染防止に十分配慮し、様々な工夫により教育を充実させていきたい。

コミュニケーション・スクールは、昨年10月に運営協議会を立ち上げスタートしたが、会議を延期している。地域とのつながりを更に強めていくよう、順次取り組みを進める。

社会情勢の変化にあっても、子どもたちの生きる力を育むことや特

色ある教育の充実に努めてきた。

ICTを活用した新たな社会やグローバル化の進展が想定され、プログラミング学習、情報処理能力、英語教育など新たな要素が加わると予想される。

今後起きうる様々な難局にも生き抜き、社会に貢献できる子どもたちを、学校・家庭・地域を挙げて育てていくことが大切。

**質問**

今後、休校中タブレットを自宅へ持ち帰り、オンライン授業することも考えているのか。

**教育長**

文部科学省では、休校中のオンライン授業は授業にカウントされない



**問**

新型コロナウイルス感染症の  
美深厚生病院の受入体制は

**答**

基本は保健所の指示  
病院は玄関先で検温と問診

このことだが、様々な課題に対し段階を追って進めていく。

**質問** 休校中の子どもたちに先生が関わっていくための指導は。

**教育長**

保護者の意見は色々あると思うが、学校側としても教育委員会としても、子どもたちの命を守るのが第一と考え、接触は控えてきた。

**質問**

体調不良時の緊急搬送先が美深厚生病院であることから、新型コロナウイルス症状が疑われ搬送される場合、救急隊員の感染症対策や厚生病院の受入体制などは。

厚生病院では、玄関先で検温や問診を行い、状況を確認している。

**質問**

高齢者の多い美深町の頼れる医療機関として厚生病院の充実を望む。

**町長**

救急隊は感染防止対策マニュアルに基づき業務にあたる。感染が疑われる場合は、病院と連携し保健所の指示で行動する。

**町長**

厚生病院の赤字含めてどう展開していくか、将来どういう形になっていくのか常に危惧をしている。



小口 英治 議員

- ① 新型コロナウイルスによる小、中、高校の影響と課題
- ② 商工業・農業・医療の影響と課題
- ③ ふるさと納税の課題

## 問

休業中の対策は  
万全だったか

答 国・道の指示の下  
全力で取り組んだ

**質問** 2月に国内で発生した新型コロナウイルスによる小、中、高校の休校に伴う①学力の低下②休校中の居場所③集団生活・スポーツ活動中止の影響④遠隔操作による授業等の取り組みについて伺う。

**教育長** 道知事、道教育長の要請により2月27日から臨時休業。その後一時再

会されて入学式は行われたが、4月20日から再度臨時休業となり、分散登校も経ながら、6月1日からようやく再開された。

休業中は家庭での学習や学習課題のプリントを配布、国や道の学習コンテンツを周知するとともに電話連絡による体調、生活状況の確認に努めた。夏・冬休みの登校学習も必要になっている。保護者の就労など止むを得ない事情がある児童を対象に放課後児童クラブも臨時的に開放し対応した。双方向での遠隔機器の授業の実施は5%にとどまり、正式な授業単位に含まれないなどの課題がある。

## 問 影響度の大きい業種の対策は

答 他地域に比べ  
遜色ない支援を実施

**質問** 新型コロナウイルスにより宿泊関連事業・飲食業が厳しい環境下に置かれている。経営支援給付、飲食店テイクアウトPR支援策を講じているが、未だ収束のめどが立たない中での今後の取り組みを伺う。

**町長** プレミアム商品券は従来にない規模で新たに宿泊・飲食店関係も支援。経営支援給付金は6月10日現在、57件、2770万円。

**質問** 定住自立圏域での医療の確保はどうか。

**町長** 美深厚生病院ではコロナウイ

ルス対応の隔離病棟はないが、国・道の指導の下、連携しながら対処する。道が示した新北海道スタイルや町が配布した美深町の新しい生活スタイルが大切。ほか1件ふるさと納税の課題について質問。

1	北海道こだわりの美深牛切り落とし 2kg
2	北海道美深産エアリアルビーフ切り落とし 2kg
3	北海道美深産グリーンアスパラMサイズ約2.0kg(秀品)
4	【2020年4月出荷】北海道こだわりの美深牛切り落とし1.5kg
5	北海道こだわりの美深牛ロースステーキ180g×3
6	北海道こだわりの美深牛ひき肉 2kg
7	北海道美深産とうもろこし「スイートコーン」10本
8	北海道美深産ホワイトアスパラ3Lサイズ約1.0kg(優品)
9	北海道美深町チーズ4種詰め合わせ
10	北海道美深町チーズ6種詰め合わせ

## 産業教育常任委員会

### 調査日

令和2年4月15日

### 調査の内容

#### 1 農業の振興、現状と課題

- ① 農業振興センターの利用状況と課題
- ② 農業者研修宿泊施設の運営状況

#### 2 林業の振興、現状と課題

- ① 森林環境譲与税の今後の使途
- ② 町有林の現状と今後の活用策
- ③ Jクレジットの取組みの現状と今後の活動

### まとめ

#### 1 農業の振興・課題

農業振興センター利用については全体的に減少傾向にあり、利用は平成27年度比で人数は18%、件数で12%減少している現状で、加工室についてはパン作り、みそづくりの使用頻度が多く、認定農家の約81%が利用している土壌分析室は施肥必要量や過不足量の適度な指導を行っている。無加温ハウスは3年経過し、商業ベースに移行する段階。

課題として、趣味の域から六次化産業育成に向け、積極的なPRが必要。

加工室の機械類の老朽化による更新と加工に使用する農産物の作付け促進。無加温ハウスによる野菜作りと販売体制の確立に次の段階への支援策が重要。農業者研修宿泊施設についても落ち込みを見せている。就農に結びついた営農者1名、在住者は7名の実績がある。課題は学生にも問口

を広げる体制づくり、農業支援塾のプログラムタイプアップとして将来を見透えた農業振興も課題とする。

#### 2 林業の振興・課題

町森林は10年間の森林整備計画の基本方針と5年間の森林経営計画を策定し、主伐、造林、間伐を繰り返している。

Jクレジットについては令和2年12月以降にクレジット販売可能となる。クレジットの売り上げを継続的な森林振興に活用できること、温暖化対策に積極的な自治体としてPRもできる。

今春開校した「北の森づくり専門学院」と連携し、森林環境譲与税も活用した美深独自の取り組みにより、林産業活性化をどう図るかがテーマ。

## 第6次総合計画調査特別委員会

### 運営委員会・特別委員会

令和元年度 5回開催  
令和2年度 4月22日、5月14日、6月11日開催

### 評価委員会

産業教育常任委員会 4月15日、4月22日、5月21日開催  
総務住民常任委員会 4月21日、5月11日開催

### 調査概要

第6次総合計画調査特別委員会（齊藤委員長）は昨年9月設置され、本年12月の第4回定例会に提案予定の第6次総合計画の基本構想の議決に向け、第5次総合計画の各事業評価を行い、課題を整理し、本定例会に中間報告を提出。今後は第6次総合計画がどうあるべきかを各議員間で議論し、内容を精査して最終報告するものです。



検証内容は  
議会ホームページで  
閲覧できます。

### 用語解説

#### Jクレジットとは

自然エネルギーの活用（バイオマス・太陽光・風力発電・植林など）温室ガスの削減や吸収に繋がる事業で、達成した数量を国が認証し売買できる制度。

## 令和元年度 政務活動費

### ～政務活動費 このように使いました～

議員に交付された政務活動費の使途内容は、研修費62.6%、資料購入費34.5%、事務費2.2%、会議費0.7%となっています。

使用額は前年との比較で、76万7,000円の減少となりました。

減少の理由は、新型コロナウイルス感染症の発生による視察研修等の中止や、自粛によるもので、残額は町の会計に返還されました。

議員名	交付額	使用額	返納額
名取 明美	143,000	50,905	92,095
田中真奈美	143,000	177,068	0
和田 健	156,000	9,792	146,208
五十嵐庄作	143,000	12,000	131,000
岩崎 泰好	156,000	164,376	0
藤原 芳幸	156,000	55,576	100,424
小口 英治	156,000	43,728	112,272
中野 勇治	156,000	12,816	143,184
荒川 賢一	156,000	31,308	124,692
齊藤 和信	156,000	9,792	146,208
南 和博	156,000	35,430	120,570
長岐 和彦	13,000	816	12,184
計12名	1,690,000	603,607	1,128,837

### 議会の動き・予定

- 5/21 議会運営委員会
- 5/21 第3回臨時会
- 5/21 第6次美深町総合計画調査特別委員会  
評価委員会（産業教育常任委員会）
- 6/ 8 議会運営委員会
- 6/ 8 第6次美深町総合計画調査特別委員会  
運営委員会
- 6/11 全員協議会
- 6/11 第6次美深町総合計画調査特別委員会
- 6/15 第2回定例会開会  
提案説明 一般質問
- 6/15 議会運営委員会
- 6/15 議会広報特別委員会
- 6/17 議案審議 定例会閉会
- 6/17 議会広報特別委員会
- 7/ 3 議会広報特別委員会
- 7/ 7 総務住民常任委員会 所管事務調査
- 7/14 議会広報特別委員会
- 7/22 全員協議会
- 7/27 議会広報特別委員会
- 7/28 議会運営委員会
- 7/28 第4回臨時会
- 7/31 産業教育常任委員会 所管事務調査

※今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策により、議員研修等が中止となっております。

今年に入り、新型コロナウイルスで多くの人が亡くなった。志村けんさんと岡江久美子さん。テレビの画面からあの笑いと明るさを届けてくれるのが、当たり前のように思っていた。亡くなって気づいた喪失感である。戦後75年が経ち、私たちは平和と安全、経済成長の恩恵を享



函岳のめ

受できることを当たり前に思っていた。この当たり前の価値観が大きく変わろうとしている。人類がこの地球で生きていくうえで本当に必要なものは何なのか、大事な人は誰なのか。普遍的な価値を見つめ直せと、自然界から人類に贈られたメッセージのようにも思える。いま何を考え、どう行動すべきかと感じた人も多いのではないだろうか。私たち議会議員も世の中の価値観を、今一度見つめ直し、美深の将来のため何を考えどう行動すべきかを問われているかのようである。

藤原 芳幸 記

美深の夏の青空は、どこまでも透き通る輝きに満ちています。そんな空の下で、美深できらきら輝く方々をフォローカス。

▼悠久の流れ「天塩川」を下る一艇のカヌーに乗って、お客様を案内するカヌー歴35年になるコスモスカヌー企画の高橋里志さん。

▼東京農業大学退官後、地域おこし協力隊を経て集落支援員として西里の美深ハーブ園を中心に、植栽や農業支援の取り組みに汗する市村匡史さん。

▼町民プールで、泳ぎに歓声を上げる小学生の子どもたち。

どの姿にも美深町の未来を予見しているように映ります。

表紙を飾る人

風



# 私からのメッセージ

美深町民の  
おふたりからメッセージを  
いただきました。



人との出会いと繋がりは宝もの  
そして、いつもありがとうございます

池田 正子

縁あって美深に来て  
五年、社協に入って三  
年半・

今まで多くの方との  
出会いや繋がり、さら  
に新たな方との出会い  
にとても恵まれていま  
と感じています。

以前「人との出会い  
は奇跡であり、繋がり  
は新たな出会いへの架  
け橋、故に大切にしま  
なくてはいけない」と聞  
いたことがあります。

私も少しずつ町のこ  
とや人々のことがわかっ  
てきたころ、ある方に  
「美深に来てよかった  
でしょう」と言われ、  
様々な方と感動や喜び  
を共有出来るようにな  
り「情け深い人がたく  
さんいるこの地に来て  
よかった」と実感して

私は大阪で生まれ育  
ち、大阪の小学校で三  
年間教鞭をとり、結婚  
をし横浜で四年後、夫  
が家業を継ぐこととな  
り美深町に参りました。  
専業主婦をしながら  
塾の先生を十数年して

いました後に、声をか  
けて下さる方がおり民  
生委員という仕事の内  
容も役割も知らずに、  
引き受け関わっていく  
ことになりました。

最初の頃は、担当の  
地区に行ってもチャイ  
ムを押すこと・声かけ  
をすることすらできず、  
本当に辛い日々でした。  
その頃は「どうしてこ  
の仕事を引き受けたの  
だろう」と後悔ばかり  
でした。でも、民生委  
員として地区の方々と

民生委員・児童委員を通して

岡崎 佳子

います。  
一人で出来ることに  
は限りがありますが、  
皆さんと力を合わせる  
ことで実現出来ること  
がたくさんあります。  
今回の「手作りマスク  
活動」も多くの方々の  
賛同や協力があったか  
らこそ出来たことでし  
た。

私は多くの方々との  
繋がりで助けられ、支  
えて頂いている事に感  
謝の思いでいっぱい  
です。  
今後は私が色々な方  
に「美深の人になって  
よかったね」と言って  
頂けるような繋がりを  
皆さんと一緒に作って  
いきたいと思っています。  
今後とも、よろしく  
お願いいたします。